

新型コロナウイルス感染症の影響で、落ち着かない日々が続きますが、本校から2名の生徒が年間留学に旅立ちました。高等部1年生の佐藤埜乃佳さんと、高等部2年生の中村香音さんです。

逆境とも言える状況の中、強い覚悟をもって挑戦を決めた2名の決意表明をご紹介します！



二度とないチャンスに

新型コロナウイルス感染症の影響で中三から行くはずだった、カナダ研修がなくなってしまったことをきっかけに本格的に留学に行きたいという意志を強く持ち始めました。また、実際に私の母が学生時代にカナダへ一年留学しており、よく話を聞いていたので留学への興味がとてもありました。今までの私は、身の回りで起きる問題、困難を解決出来ず何事も不寛容な考え方をしてしまったたり親や周りの人達に頼ってばかりの子どものままでした。しかし、これからは国籍、文化、言語、環境も異なる場所で生活しなければならないし、それは簡単なことではありません。そんな状況だからこそ自分自身の精神力を鍛え、行動力、また思考力をも向上させることが出来るのではないかと考えています。親に頼らず、一人で考える時間が多くなることにより、冷静に物事を判断する力を育成し、自分の行動に責任を持つことが出来るように努力し、これから生きていく上でこの経験を自分の強みにしたいのです。積極的に友達やホストファミリーと会話したり率先して色々な人とコミュニケーションを取り、英語力を高めたいです。また、一人一人違っている見た目、考え方、価値観を身を持って知ることによって視野やこれから先の可能性を広げたいです。そして日本に帰ってきたら、この経験をしっかりと学校や生活でも自分自身の強みとして自信を持ち、生かしていくことが出来るようにします。私を留学に行かせてくれたりいつも支えてくれている家族や周りの方々に感謝しながら、精一杯二度とないこの機会に後悔することなく努力し続けたいと思います。

S1A 佐藤埜乃佳さん

期間：2021/9/1

～2022/6/29

留学先：カナダ

S2C 中村香音さん

期間：2021/8/10

～2022/8/9

留学先：米国（ユタ州）

憧れていたアメリカ留学への準備

私はこの夏、幼い頃からの憧れのアメリカに留学をすることになりました。本来ならば去年行くところがコロナ禍の影響により、一年遅れの出発になりました。現在、世界中では未だにコロナ禍が収まっていないため、去年と同様に延期(中止)になると思っていたので今回行けることが出来て本当に嬉しく思います。私は小さい頃から英語が好きで関大の国際プログラムである台湾交換留学や中学3年生で行ったカナダ研修旅行に参加して異文化を学ぶと同時に一層英語を学びたいという気持ちが強くなったことが今回アメリカ留学に参加した大きな理由の一つです。今、私は留学に対して不安なことがいくつかあり、その一つは現地での友達作りです。今までの短期留学などでは予めパートナーなどを紹介されて行っていたのが、今回は一からの友達作りということでもとても緊張しています。留学に行った先輩方に聞いてみると、どの場面においても積極的に行動する事が留学生活を楽しむことができる一番大事な事と言われていて、私も待つのではなく積極的に動いて何でもチャレンジできるように意識したいと思っています。もちろん初めのうちは授業や向こうの生活についていけないと思いますが、分からない事があつたら溜めるのではなくその都度その都度向こうの先生方や友達に聞いて解決しようと思っています。向こうに行つて、慣れないこと、不安なこと、楽しいこと、思ってもいないハプニングなど、これからたくさん出てくると思いますが、せつかく頂いたチャンスを無駄にしないように一年間精一杯頑張りたいと思います。



イギリス研修代替プログラム English Challenge Program

8/2～8/5の4日間、本校に講師を招いての英語集中プログラムを開催しました。本校で例年行っているイギリス研修の代替案として企画されたもので、英語プレゼンテーションやディスカッションについてネイティブ講師から授業を受けたり、イギリスの文化やコッツウォルズ地方の名所について学んだり、現地のホストファミリーとZoomで繋いで交流したりしました。

中等部3年生から10名、高等部1・2年生から11名の計21名が参加し、それぞれ楽しく実りある時間を過ごしていました。



参加者の感想

- ・同じくらいの歳の子たちと話し合えて、国境を越えての共通点も見つけることが出来たので良かったです。
- ・一日中英語漬けだったので、いつのまにか自然と英語が出てくるようになりました。
- ・大学生との会話では、自分たちの将来にも関係する話などがたくさん出てきてとても興味深かった。また、ファミリーの方も同学年の子達とも優しく話してくださって嬉しかったです。
- ・いつもは日本人が英語を話しているのを聞いて英語を学んでいるけど、本場の外国人と話して日常との違いを感じられ、とても楽しかった。
- ・最初は不安もありましたがフレンドリーな先生のおかげでたくさん英語を話すことができました。普段はシャイであまり教室でも発言しないのですがこのプロジェクトでは積極的に話すことができ新たな自分に出会えました。

その他のオンラインプログラム

グローバル教育ウェビナー（主催：ISA）

世界各地で働く日本人スピーカーによるウェビナー。中等部・高等部合わせて15名が参加しました。3ヶ月間、全6回（90分/回）で講演を聴き、ライブ形式で質問もできます。脳外科医、弁護士などのスピーカーから、生徒たちは多くを学び取った様子でした。

韓国オンライン修学旅行（主催：韓国観光公社）

7/28（ソウル編）、8/11（釜山編）の2日間で行われたプログラム。中等部・高等部合わせて12名が参加しました。現地施設の見学や伝統工芸体験などもあり、非常に充実したプログラムとなりました。

オンラインサマーキャンプ（主催：一般社団法人Atlantic Pacific Japan）

本部がイギリスにある当機構は、教育・コミュニティエンパワメントの観点から海を安全な場所にするために活動しています。中等部・高等部合わせて4名が参加し、ロンドンと中継しながらディスカッションや体験学習を行いました。

詳細は本校HPにも掲載しています！